

令和元年度第1回
北海道スポーツ審議会

会 議 録

日時：令和元(2019)年6月14日(金) 9時30分開会

場所：かでの2・7 9階 920会議室

1. 開 会

○事務局（石丸スポーツ振興課長）

定刻となりましたので、ただいまから、令和元年度第1回北海道スポーツ推進審議会を開催します。

本日の進行を務めさせていただきます北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課の石丸と申します。どうぞよろしくお願いたします。

2. 挨拶

○事務局（石丸課長）

開会に当たりまして、北海道環境生活部 築地原部長より御挨拶申し上げます。

○築地原環境生活部長

6月1日付けで環境生活部長として着任いたしました築地原と申します。開会にあたりまして一言、ご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、道のスポーツ行政の推進はもとより、道内のスポーツ活動の発展に御尽力いただいておりますことにこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。御承知のとおり本年9月には「ラグビーワールドカップ」が開催されます。そして、来年2月には、知的障がいのあるアスリートの方々が集う「スペシャルオリンピックス」が開催されます。また、来年、いよいよ7月から9月にかけて、「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されまして、先般、公表されましたけれども、道内での聖火リレーが行われるという状況になっております。

また、これも御承知のとおり、昨日もJRの記事が載っておりましたが、北広島市に日ハムの新しい球場が建設される予定であり、ボールパーク構想が実現するといったことで、こうしたスポーツを巡りますビッグイベントあるいはビッグプロジェクトが目白押しの状況となっております。御承知のとおり国ではスポーツを成長産業化するという中で、様々な取組が進められております。道といたしましても、こうした動きと呼応して、様々な取組を行っているところでございます。本日の審議会におきましては、そうした取組を含めた「第2期北海道スポーツ推進計画」の関連施策について、御報告をさせていただきます。また、「北海道スポーツ賞」、「文部科学大臣表彰」の候補者の選考をお願いすることになってございます。どうぞ忌憚のない御発言をいただきながら皆様の知恵やアドバイスを賜るというように思っているところでございます。

今後とも、一層、御支援を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが開催にあたっての御挨拶とさせていただきます。

○事務局（石丸課長）

それでは、今回は今年度、第1回目の審議会となりますので、まず委員の皆様方から一言、お願いしたいと考えております。名簿順に、簡単に自己紹介を兼ねて御発言をお願い

いたします。まず、宇佐美会長からお願いします。

○宇佐美会長

はい。皆さんおはようございます。会長を仰せつかっております宇佐美暢子と申します。現在は公益財団法人北海道スポーツ協会、3月までは北海道体育協会、4月から北海道スポーツ協会になりましたがその副会長を務めさせていただいております。同時に、北海道スポーツ少年団の本部長という役目も仰せつかっております。元々は新聞社出身で、スポーツイベント等を担当し北海道のマラソンにも関わりました事業局長をやっていたご縁から、このスポーツ協会のお手伝いをするようになった次第でございます。その他この名簿にもありますが、今は株式会社北海道21世紀総合研究所の顧問として様々な講演活動などをやらせていただいております。どうぞよろしく願いいたします。

○増山副会長

おはようございます。副会長を仰せつかっております増山尚美です。北翔大学生涯スポーツ学部の教員です。私の方からのトピックスは、この2月に大学横断のスポーツ競技組織ということでUNIVAS（ユニバス）というものが発足しまして、本学も加盟したところです。最初はスポーツコンテンツの経済効果というところで、話が盛り上がったところですが、その後学生が安全にまた学業と両立するということも部門が立ち上がり、今後競技横断、大学横断の大学スポーツ活性化ということが進んでいくと期待しているところです。また、先ほどスペシャルオリンピックの話がありましたけれど、先日、有森裕子さんが本学にも訪問しまして、トーチリレーとか学生のボランティアという話がされていきました。障がい者のスポーツの分野でも、また、オリンピック・パラリンピックも契機に盛り上がっていくと期待しています。それと近々出るのですけれど、8月に生涯スポーツ学会があるのですが、それを本学で開催することになっていますので、お時間のある方は8月の29日、30日に行いますので、またご案内をいろいろなところでさせていただくと思いますが、市民公開の講演等もありますので、参加していただけたらと思っています。よろしく願いいたします。

○尾形委員

委員の尾形修と申します。よろしく願いいたします。おはようございます。北海道スキー連盟の競技本部長を仰せつかっております。この2月、3年ぶりにおかげさまで、北海道が総合優勝を国体でできました。本当にこれは強化予算の増額などの部分や、地元札幌で開催することで、選手、理事その他役員もみんなで一生懸命やった結果とっております。本当にお世話になりました。昨年、平昌オリンピックが終わり、この2020で東京がすごく盛り上がっている中ですが、この後、北京で冬季オリンピックが開催されますので、そちらに向けてまたこの冬、富山国体で総合優勝できるように、スキー連盟として

も頑張っていく次第でございますのでよろしくお願いいたします。

○岡部委員

改めましておはようございます。私は釧路市の教育委員会で教育長をしております岡部と申します。流れ的にはそれぞれのトピックス的なお話になっているようですので、私からは、今年の早々、釧路では4回目の国体となりました、イランカラプテくしろさっぽろ国体、まさに、こちらに並んでいる道庁の皆さんの御指導もいただき、無事執り行えたところであります。ちなみにその際は、築地原部長さんは釧路の総合振興局長として、御指導いただいたということでございます。それとともに、昨年一昨年でしたか、この審議会でお話をさせていただきましたが、私ども東京オリンピック・パラリンピック、これに関するホストタウンということで、ベトナム国を相手国とするホストタウンに国の登録を受けてございます。具体的に実はおそらく8月ぐらいになると思うのですが、ベトナムとの間に基本合意書を取り交わすことが内々決まっております、その中で、その時もお話ししましたが、私どもはぜひパラリンピック種目を基本的には事前合宿等で誘致をしていきたいということで、今のところパラリンピックの陸上の選手団とパラリンピックのウエイトリフティング、重量挙げの選手団をまずは事前合宿にお迎えをすることが内定をいたしましたので、ぜひ、この後も、当審議会の委員の皆様の変わらぬ御支援と御助言を頂戴できればと思っております。私はここに書かれておりますように、北海道都市教育委員会連絡協議会という道内の支部の教育長の集まりから選ばれておりまして、今回でたぶん終われるだろうと思っておりますが、またどこかでお会いできましたらよろしく御指導をいただければと思います。ありがとうございました。

○笠師委員

おはようございます。北海道医療大学の笠師と申します。私事ですが3月まで北海道大学病院で薬剤師をしておりましたが、無事に卒業することができまして4月からは北海道医療大学の薬学部で教員として着任いたしました。本学は昨年の秋に日本体育大学と提携を結びまして、スポーツ医療の推進をしていくということで、当別町をあげて、今の推進活動に動いているところでございます。私事でございますけれども本会の会長でいらっしゃいます宇佐美さんと同じように、北海道スポーツ協会でスポーツ科学委員という立場にございます。それから前段の先生達がお話をされましたけれども、競技団体の方はパラリンピック種目が一つ、それからオリンピックの夏と冬と一つずつ、競技団体三つに所属しておりまして、主に選手の健康、それからアンチ・ドーピング教育啓発の方に邁進しているところでございます。それぞれのオリンピック・パラリンピックの話もこれから展開されると思いますので、現場の話をここで出しながら、推進していきたいと思っております。また、中学校でなかなかスポーツ教育をさせていただけないということを、ここでお小言を申し上げさせていただいたところでございますが、早速高等学校の先生から講習会の紹介

をいただきましたので、またこういったことから展開できればと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○菊池委員

おはようございます。帯広から来ました菊池といいます。私は元スピードスケーターです。縁がありまして引退してから30歳の時から国体による通称年寄りグループというのですが、その年代ができてから15年間45歳まで復帰させていただきました。それから、今は将来のオリンピックを目指して少年団の活動に協力し、私自身も子供たちも目標をもって、楽しみながらやっている最中です。スケートを通じて、生涯できるスポーツだと思って実感しております。また皆さん方の御意見を少しでも頭に入れて、これからも活かしていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

○黒田委員

皆さんおはようございます。公募委員で4期目になる黒田伸と申します。元々、宇佐美会長と同じ新聞社に勤めておりました。スポーツの取材が結構長かったです。元々、最初は東京にいて、元々、別の新聞社にいて、それこそプロ野球からサッカーからほとんどの競技を見て参りました。菊池さんも取材をした記憶もありますし、鈴木さんもお話をしたような気がするのですが、そういったことで今もうフリーという立場でいろいろスポーツに関わっております。NPOもいくつか入っております一つは北海道マラソンの支援するNPOグループ、もう一つはメルボルンマラソンを支援するNPOグループもやっております。そういったことでいろいろな立場からいろいろな発信をしております。主に今は道内では雑誌、それから東京でも雑誌とか、専門誌なんかには割とスポーツのことが多いのですが、気持ちとして私はフリーのジャーナリストなのでいろいろなところで書いております。スポーツだけでなく、特に今回の北広島のボールパークに関しては、いろいろなことを立場から書かせていただいております。先ほど築地原部長からお話ありましたように、今年、来年と大きなスポーツのビッグイベントがいっぱいあります。私たちも本当にそれを考えながら、道民のために、新しい知事になったところですのでね、新しい、すばらしいスポーツ推進の施策を進めていけたらと思っております。その一助になればと思いますので、ひとつよろしく願いいたします。

○坪田委員

おはようございます。私は北海道スポーツ推進協議会の坪田と申します。私たちの団体は全道に2,500名の委員がおりまして、それぞれの地域で、それぞれ地域スポーツに特化して頑張っております。これから、スポーツ庁でも強力にこれから推進していきたいというスポーツの広がりを広めるために、これから学校が少子高齢化、空き室とか、そういうことがでてくる、この空き室だとか、それから体育館を活用しました学校開放事業を全国

的に展開して、北海道、特に札幌はもうすでに 100 以上の団体が出来てるのですが、これを地域総合型スポーツクラブのちょっとミニ版という形で推進していくという、地域スポーツに特化した、地道な努力をして町おこしに貢献するということを実施するなど、全道で活躍しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○藤井委員

おはようございます。北海道中学校体育連盟会長の藤井勲一と申します。札幌市立月寒中学校校長として勤務させていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。皆様には日頃から本連盟、中体連の活動に御理解御支援いただきまして、本当にありがとうございます。我々の任務の中心は、北海道中学校体育大会いわゆる中体連の全道大会で、夏15、冬4つの大会の安定充実した推進・大会運営ということが中心の任務になっております。今年も7月26日から8月4日に夏の大会が行われますけれども、今そのための事前の準備ということで各地にいろいろお伺いさせていただいて、先日も釧路の岡部教育長のところにお邪魔してお忙しい中お時間いただきましてバスケットボールの事前の打ち合わせをさせていただいたところでございます。また昨年度全国アイスホッケー大会が帯広で行われまして、スケート連盟さんに本当に大変お世話になりました。ありがとうございました。運動部活動を取り巻く環境ですけれども、とりわけ中学校のことを申しますと、平成7年には20万8000人居た生徒が、昨年は12万7000人と激減しております。そのことに伴って特に広域性の高い北海道におきましては、活動単独で部活動が持てないということに伴って、合同チームのあり方ですとか、様々な問題があります。加えて、昨今、スポーツ省から出されました部活動のあり方に加えて働き方改革ということで、部活動の安定した運営をこれからどうしていくのかということで、日本中体連の中枢会議も含めながら、検討を重ねているところでございます。ただ我々の今の根幹にあるのは、あくまでも中学生の健全な心身の育成、そこが我々の一番のポイントになるところでございます。強いチームの育成、それから強い選手の育成もございすけれども、それを目指す中で、あくまでも中学生が中学生として健全で心身を育てていくと、その一助になるというために我々何ができていくのかと。そういうことに、これからも頭を悩ましていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○星委員

おはようございます。北海道レクリエーション協会の星と申します。よろしくお願いいたします。今からちょうど2年前になります2017年ですけれども、全国レクリエーション大会in函館ということで、北海道函館で開催されました。その際には、環境生活部の皆さんにも大変お世話になりましてありがとうございました。レクリエーションと言いますと、なかなか理解されないと言いますが、何か幅が広くて、何をやってるのだろうという、ちょっと疑問符がつくような感じがあると思うのですが、ちょっとかいつまん

で具体的に言いますと、楽しい体験などを通して心の元気づくりを推進するというようなことをやっております。対象になるのはもちろん幼児から高齢の方までどなたでもということになります。そういったことを推進していくために、日本レクリエーション協会というのがあるのですけれども、そちらの方で、レクリエーションインストラクターですとかレクリエーションコーディネーター、最近ではスポーツレクリエーション指導者、そういった制度も設けて、活動を推進しているところです。北海道レクリエーション協会としては、すべてに全力を尽くしていくつもりでおりますけれども、なかなか近年ちょっと予算が厳しくなってきた、十分な活動にはなっていないのですけれども、微力ながら、健康づくりということで推進していきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

○山崎委員

おはようございます。根室管内標津町教育委員会教育長の山崎でございます。五十音順なので、どうしても最後の方になってきますので、どんどんお話しする内容が絞られてくるというところで、また中体連の藤井先生が、学校部活動の関係がお話しされたので、これまた狭まってきたなと思いつつ、仰ったように働き方改革の波が、学校部活動にも押し寄せているところであります。またお話がありました、子供にスポーツ医に関わるということが、どんどん減っているということがございまして、私どものような小さな町では、特に部活動の維持というものが大変困難となっており、これが人口の流出にも拍車をかけているとも考えております。5,200人の小さな町でございますけれども、昭和63年にスポーツの町を宣言させていただいて、300歳ソフトボールですとか、個性的なスポーツの取組をしております、去年30周年を迎えております。それだけスポーツが盛んな町であったのですけれども、このところの中学生の体力がどんどんどんどん落ちてるといいうところがございまして。全国的に体力度調査というものをやっております、新聞でも報道されて、今年の1月か2月に報道されておりますけれども、北海道は中学生は全国でも一番体力が低いと言われております。特に根室管内は北海道で一番低いところとなっております、そうすると、この地域は、全国で一番低いと見られているところでございまして。そういったように中学生を、すぐに鍛え直すというのは難しいということで、今週、認定こども園3歳、4歳、5歳から、いま、地域おこし協力隊という人たち2人派遣してもらい、この2人で体力づくりを進めているところです。まだまだ時間がかかるかもしれませんが、こういった取組で、全体の体力を上げていく、またスポーツに関わっていく、子ども達が増えていくという取組を進めているところでございまして。生涯スポーツですとか、学校活動、そしてスポーツ少年団といったところに関わる立場として、審議に参加させていただきますので、どうぞよろしく申し上げます。

○事務局（石丸課長）

ありがとうございました。なお、遠藤委員、谷坂委員、日向委員、山崎文子委員につき

ましては本日欠席となっております。

続きまして事務局職員を御紹介いたします。

[事務局職員紹介]

○事務局（石丸課長）

築地原部長につきましては、この後行事の都合がございまして、ここで退席させていただきます。

○事務局（石丸課長）

それでは、ここで当審議会について、改めて御説明させていただきます。北海道スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法第31条及び北海道スポーツ推進審議会条例により、知事の諮問に応じ、スポーツの推進に関する重要事項を調査・審議することを目的として設置されたものでございます。北海道情報公開条例第26条により、会議は公開となりますが、会議を公開することが適当でない場合には、同条のただし書きにより、会長が会議に諮りまして、非公開とすることができます。会議録は、附属機関等の設置及び運営に関する基準に基づき非公開部分を除き、行政情報センターで閲覧に供するほか、道のホームページで公表することとなっておりますので御承知おきいただきたいと思います。続きまして会議の成立についてですが、本日は11名の委員の出席をいただいております。全員15名の2分の1以上の出席でありますことから、北海道スポーツ推進審議会条例第6条第2項により会議が成立していることを御報告いたします。本日の所要時間ですが終了予定時刻は概ね11時30分頃を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

[配付資料を確認]

○事務局（石丸課長）

それでは、ここからの議事の進行につきましては、宇佐美会長にお願いいたします。

3. 議 事

○宇佐美会長

はい。それでは議事に入ります。帰りのJRの時間の制約のある方もいらっしゃるようですので、なるべく11時半までは終わらせたいと思いますが、既に時間を超過しておりますが、皆様の御協力を得て進めたいと思いますのでよろしく願いいたします。議事の進め方ですがお手元の次第に沿って報告事項から審議事項までを順番にお諮りいたします。それぞれの議題について事務局から説明を受けた後、委員各位からの御質問をお受けいたします。質問終了後審議事項は採決を行います。それから事務局から説明もありまし

たが、北海道情報公開条例第26条により、会議は公開となりますが、審議事項は、候補者の個人情報を含んでいるものもあり、会議を公開することは適当ではないことから、非公開にしたいと思います。審議事項の1と2、スポーツ賞候補者の選考と文部科学大臣表彰候補者の選考についての部分は、非公開にしたいと思いますが御異議はございませんか。

[異議なし]

○宇佐美会長

はい。では異議なしということで進めさせていただきます。

○宇佐美会長

それではまず報告事項、令和元年度スポーツ関連施策について事務局からお願いいたします。

○事務局

はい。第2期北海道スポーツ推進計画に関しまして、令和元年度の関連施策について御説明いたします。資料1-1と資料1-2をご覧ください。まず資料1-1では関連施策の一覧を記載しております。なお、資料にあります表の右の欄にページ、その左側の事業番号につきましては、資料1-2の記載ページと番号となっております。また、担当部は所管する部の略称を記載しております。資料1-2は、各施策の概要をまとめた資料となっております。資料1-2の1~6ページ、これにつきましては、スポーツ振興課が実施している事業について、7~8ページにつきましては総合政策部が実施している事業。9~10ページは、スポーツ振興課以外の環境生活部の2課が実施している事業。11ページが保健福祉部の事業。12ページが経済部の事業。13~15ページに教育庁が実施している事業について記載しております。今回は資料1-1に沿って御説明いたしますので御覧ください。第2期北海道スポーツ推進計画では、本道におけるスポーツの推進を図るため、今後の主な取組の内容を、計画策定における五つの柱に分類して取り組むこととしております。資料1-1では、計画の第3章として記載しました5つの柱と、その下の小柱毎に、令和元年度の関連施設を記載しております。また、計画の中で目標を設定している小柱については、参考として併せて記載しております。まず初めに、柱1「スポーツで変わる北海道民」の下には、「様々な世代のライフステージに応じたスポーツ活動の推進」をはじめとする4つの小柱により、道民がスポーツに親しむ機会の拡充を図っております。

施策の一部をご説明しますと、小柱1の施策を記載した表の上から3番目の地域づくり総合交付金は、市町村が地域活性化を目的に取り組む各種事業に支援しているものであり

ますが、屋内スポーツ施設の整備事業などスポーツ振興事業が交付対象事業となっているものです。そのほかにも、小柱2の表、上から3番目の「学校スポーツ振興事業費」では、学校スポーツ活動の普及促進を図るため、中体連などの全道大会開催費の補助を実施しております。次に2ページをご覧ください。柱2「スポーツで変える地域・経済・共生社会」についてですが、「スポーツによる地域の活性化」などの3つの小柱により、スポーツを通じた地域の活性化や共生社会の構築を進めています。主な施策としましては、小柱1の表の最後、経済部が所管する事業になりますが、国内の他地域に比べ、本道が優位性を持つ、地形や気候を活用したスキーやサイクリングなどのスポーツを核とした外国人観光客向けのスポーツツーリズムの推進を図るものとなっております。また、小柱3「スポーツでつくる優しい共生社会」にありますように、障がい者や高齢者の方のスポーツの振興等を目的とした施策を進めております。次に3ページの柱3「『どさんこ選手』の国際競技力の向上」につきましては、関連施策のうち、新規事業及び予算を拡充した施策についてご紹介いたします。まず、今年度の拡充施策についてですが、小柱2「世界に羽ばたく次世代アスリートの発掘・育成」の施策を記載した表の1番目、「スポーツ王国北海道事業費」の中のジュニアスポーツアスリート強化育成事業となっております。本事業は、平成23年度から北海道の特性になります冬季スポーツについて中高生を中心としたジュニア選手層の育成・強化を図るため実施されていますが、本年からは本道の競技スポーツの全体的なレベルアップを図るため、夏季競技のバスケットボールやバドミントンなど7種の競技を対象に加え、さらなるジュニア選手層の強化を実施していくこととなります。次に新規事業ですが、同じ小柱2の表の下の2つの事業となっております。両事業は令和2年1月に開催予定となっております「全国中学校体育大会第40回全国中学校アイスホッケー大会」及び「第69回全国高等学校総合体育大会スケート競技アイスホッケー大会」の開催に対する補助金を計上しております。なお、全国中学校アイスホッケー大会は苫小牧市で、全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会は帯広市において開催予定となっております。次に、4ページの柱の4「スポーツを通じた人づくり」につきましては、前段の柱1から3に掲載しております施策により、スポーツに関わる様々な人材の育成に取り組んでおります。最後に、柱5「東京2020オリパラの開催、札幌冬季オリパラによる北海道レガシーの創出」については、先日、2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会より、聖火リレーのルートが発表されたところでありますが、道としましても、表のはじめにあります「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業」により、聖火リレーの成功に向け、ランナーの公募等を行うとともに、東京オリパラに向けた道内の機運醸成を進めております。私からの説明は以上です。

○宇佐美会長

はい、ありがとうございました。北海道スポーツ推進計画関連についての御説明でございました。御質問・御意見ございますでしょうか。いかがですか。それぞれ静かですね。

いつもはもう少し質問ありますけれどもいかがでしょうか。ありませんか。黒田さん、いいですか。

○黒田委員

じゃあ少しだけ。範囲が広くてどこを質問して良いか判らないのですが、これはつまりはこれまでのスポーツ推進計画の第2期分の部分で、予算の決定権というのは、どこにあるのですか。これはこれでもう通ったということですか。

○事務局

本日正式に、記者発表を午後からいたしまして、もう決定はされております。

○黒田委員

もう予算の中入っている訳で、事後の報告ということですね。では一つだけ。一番特色あると言えどこになるのでしょうか。

○事務局

先ほども御説明させていただいたのですが、北海道の特色である冬季スポーツに今までオリンピック、要するに世界へ羽ばたく人材を育てるために育成事業に取り組んできたところですが、全体がやはりスポーツ王国北海道を目指すということで夏季スポーツにも力を入れるということで今年度初めて、夏季の7種目について強化事業をするというところで考えております。これが一番の特色かと考えております。あと2020オリンピックが控えておりますので、聖火リレー、これについても粛々と進めていくところでございます。

○黒田委員

はい、ありがとうございました。

○増山副会長

他の部署のところですけど、資料1-1の4ページの真ん中辺の4番の大学との連携によるスポーツ人材の養成というところが、予算がついていないということなんですけど、これが目標ありつつ、予算がついてないのは何か今後の展望などが有りましたら教えていただきたいと思います。

○事務局

予算が付いていないといいますか、ここの部分については付いていないということで、特に北翔大学とは、今回、パラスポーツの発掘育成事業の中で、昨年度の発掘の時に道内

を探しましたら、パラスポーツに関する体力の測定のしっかりできるところということで、北翔大学から協力していただけると御連絡いただきまして、北翔大学において連携して、パラの測定と、2階の体育館の場所を活用させていただいて、延べ300人の方々に来ていただいた。あとは例えば札幌大学でパラリンピック概論という形で寄付講座を作らせていただいております、その中で、半期を通して講座を行っていただいたとか、単に事業費をとってやるという形だけではなく、そういったパートナーシップ的に展開をさせていただいているということです。

○事務局

補足しますと、今、パラの方の御紹介があったのですが、道としては大学との包括連携協定というものを色々結んでいただいているのですが、包括連携協定に拘わらず、道内でスポーツに力を入れている大学が非常に数多くありますので、そのような大学と一緒に色々な形でそれぞれができるところをまずやっていこうという形で今動いています。大変申し訳ございません。予算は付いていないのですが私たちが汗をかきながら大学とともに努めて参りたいと考えております。

○宇佐美会長

よろしいですか。

○増山副会長

はい。

○宇佐美会長

できれば予算を付けて欲しいということですね。

○増山副会長

当学は連携協定を道と結んでいるのですけれど、それが増えるようにと思いつつ、アクションが見えないところが残念かなと思いました。

○宇佐美会長

という要望だそうです。他にございませんか。

○藤井委員

今年も北海道中体連の補助金ありがとうございます。補足なのですけれども、3ページに、今年の全国大会アイスホッケー苫小牧市開催となりますけれども、去年は帯広市、昨年度は釧路市で、実は全国大会アイスホッケー大会が開かれている。昨年と一昨年度の

全国大会では開催費補助金はなかったのです。実はですね、昨年、一昨年度は北海道以外の土地でアイスホッケー全国大会が開かれる予定であって、イレギュラーで北海道が引き受けるという形だったものですから、もともと北海道の支出予定はなかったということでございまして、今年度苫小牧市開催はレギュラー開催ということになります。

○宇佐美会長

他にございませんか。

○笠師委員

すみません。ちょっと別枠なのかもしれないのですが、先ほど委員の先生の方からホストタウンの話があって、多分五つか六つぐらい北海道でホストタウンの該当になるかと思いますが、そこの何か連携事業とか、予算の補助とかそういったものというのはあるのでしょうか。

○事務局

現在のところ国の登録制度となりますので、申請の結果、5都市で登録されております。支援制度といたしましては、交流事業については2分の1の額が国の方から出ることであります。連携といたしましては、それぞれの自治体が事前合宿や事後の交流を行っていくという中で、我々は特に登録に至るまでのお手伝いというものをかなりしております。例えば大使館に説明に行くとか、或いは海外から視察に来られるという時に際しましては、我々と一緒に説明に行くとか、マッチングの部分で特に御協力させていただいております。あとは、合宿の際に対戦相手が必要な時に、我々のネットワークの方である程度レベルが高い相手を探したりというマッチングの部分でも協力をさせていただいております。

○宇佐美会長

他にございませんか。よろしいですか。

[特になし]

○宇佐美会長

はい。それでは報告事項は終了とさせていただきます。

○宇佐美会長

続きまして審議事項に入りますが、冒頭に申し上げたとおり、審議事項は個人情報を含

んでおりますので、北海道情報公開条例第26条により非公開といたします。恐れ入りますが、傍聴者の皆様と報道関係者の皆様におかれましては、御退出をお願いいたします。申し訳ございません。よろしくお願いいたします。

[傍聴者・報道関係者退出]

[北海道スポーツ賞候補者の選考・文部科学大臣表彰候補者の選考：非公開]

[北海道スポーツ賞実施要綱の改正：非公開]

○宇佐美会長

予定していた議事は以上でございますが、意外に早く終わりました。その他ということで、全体を通して委員の皆様方からありませんか。事務局からありますか。

○事務局

先ほど、増山副会長からお伺いのあった件について、答え方を間違っていたと思ひまして、増山副会長は資料1-1の予算の話、柱4の4の包括連携協定、これに予算が付いていないのではないかというお話であったと思うのですけれども、それ自体は包括連携協定を締結するという行為ですので基本、来年の予算はつかないと思うのですけれども、包括連携協定に基づきまして、資料1-2の1番⑥、パラアスリートの発掘プロジェクト、この部分を包括連携協定を結ばせていただいている北翔大学様と、全面的な御協力をいただきまして、実施しておりまして、そこはきちんと予算事業として成立しておりまして、予算以上の御協力をいただいているとは思いますが、会場使用ですとか、施設を使うときについてはきちんと予算事業とさせていただいております。

○宇佐美会長

予算が付いていないわけではないという御説明でしたけれども。これを見ますと、包括連携協定だけではなくて、全般に大学との連携強化というふうに少し広い意味で、おっしゃってますので。増山委員もそれについてのご指摘もあったわけです。いいですか。今の回答で。

○増山委員

そうですね。実際に事業が展開する時には予算が付与されるということで了解しました。

○宇佐美会長

はい。わかりました。ありがとうございます。せっかくの機会でございますので、その他ということで特に今日は冒頭、自己紹介もありましてアピールすべき事もお話しになっ

たかと思いますがちょっと足りないとかもう少しお話ししたいという方がいらっしゃいましたら、お時間が多少ありますので、この際話しておきたいというようなことはございませんか。今日が出席最後かもしれないという委員もいらっしゃいます。よろしいですか。それでは特になければこれで終了します。事務局にお返しいたします。

○事務局（石丸課長）

宇佐美会長ありがとうございました。本日御審議いただいた審議事項の1、北海道スポーツ賞の候補者の選考についてですが、本日の御審議を踏まえまして、知事が決定することとされております。その表彰式につきましては、日程調整の上、委員の皆様にご連絡したいと思います。決定までの間は候補者氏名等の取扱いには留意いただきたいと思えます。続く審議事項の2番、文部科学大臣表彰の選考につきましては、本日の御審議を踏まえまして、知事から文部科学大臣に推薦することとされておりますが、概ね9月中旬頃に表彰者が決定される予定ですので、こちらも候補者の氏名等の取扱いには留意いただきたいと思えます。

また、本日の審議事項につきましては、非公開とされておりますことから、本日途中でお配りいたしました資料2と資料3については回収させていただきますので、そのまま机上に置いておいていただきたいと思えます。他の資料についてはお持ち帰りください。その他の事項の北海道スポーツ賞の実施要綱の改正につきましては、本日の審議を踏まえ、改正手続きを進めたいと思えます。

4. 閉 会

○事務局（石丸課長）

それでは以上をもちまして、令和元年度第1回北海道スポーツ推進審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。